

平成24年度
特別展

香芝市二上山博物館開館20周年記念

えんの

ぎょう

じゃ

役行者、

二上山と信仰の系譜

ふた

がみ

かみ

二神の上の峯に登る



役行者前後鬼及び八大童子像 ※展示は模写(京都 聖護院門跡蔵)

2012

9/29 SAT → 11/25 SUN

香芝市二上山博物館

Kashiba City Niijosan Museum

〒639-0243 奈良県香芝市藤山一丁目17番17号

香芝市文化施設 ふたかみ文化センター1階

TEL.0745-77-1700 FAX.0745-77-1601



役行者、

二神の上の峯に登る

～二上山と信仰の系譜～

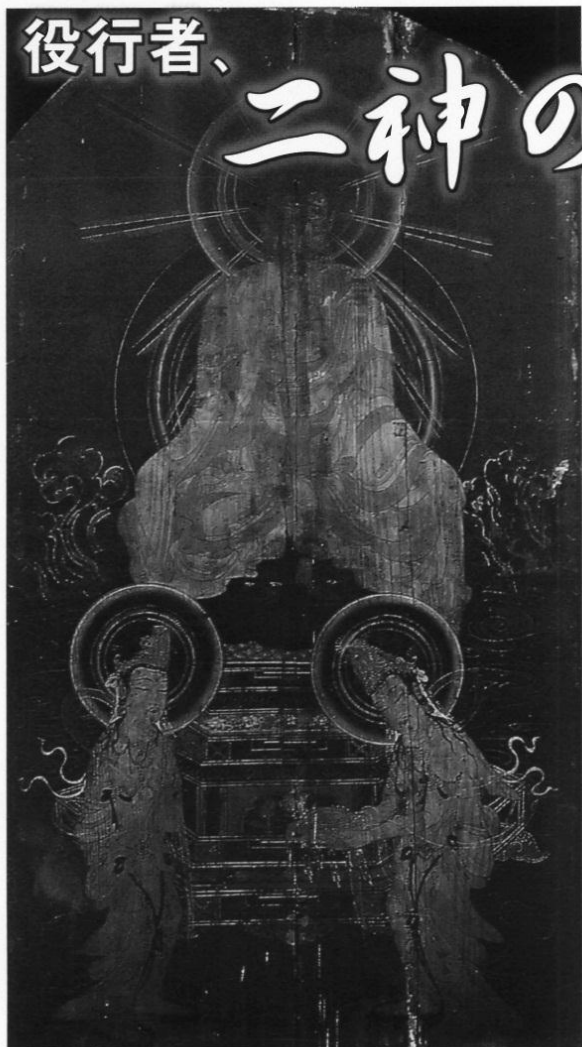
太陽が昇る神の山・三輪山に対して、太陽が沈む神の山・二上山。死者の魂が山に赴くと考えた古代人にとって、並びたつ2つの峯は、この世とあの世をへだてる境界であって、7世紀以降の二上山の信仰に大きな影響を及ぼします。

二上山麓では飛鳥・奈良時代に古代官人の火葬墓が営まれ、この地域に初期の火葬文化が形成されました。また、當麻寺や石光寺など、多くの古代寺院も造営されました。

平安時代には浄土信仰の高まりと、香芝市で生誕された恵心僧都源信の『往生要集』の影響もあって、太陽が沈む二上山の向こうに西方極楽浄土を彷彿させます。これは當麻寺で毎年5月14日に行われる練供養会式(レンゾ)につながります。

そして鎌倉時代には、役行者が金剛・葛城山で修行されたことから、葛城修験が隆盛となって、二上山には二上権現、嶽の権現が祀られました。室町時代以降は、この嶽の権現が水神として庶民信仰と結びつき、毎年4月23日に行われる「嶽のぼり」の習俗へとつながっていきます。

このように二上山は、各時代において信仰形態が異なりますが、常に人の「死」と向き合ってきた不思議な山なのです。



板佛 阿弥陀三尊来迎図 (奈良 福応寺蔵)



二上山 (香芝市良福寺・千股池より)



木造役行者前後鬼・八大童子像 (京都 聖護院門跡蔵)

特別展記念講演会

10月20日(土) 14:00～16:00(開場13時)

演題「中將姫と当麻曼荼羅」

講師 松村實昭氏・當麻寺 別格本山中之坊院主

11月11日(日) 14:00～16:00(開場13時)

演題「二上山麓の古代寺院」

講師 近江俊秀氏・文化庁文化財部記念物課文化財調査官

11月25日(日) 14:00～16:00(開場13時)

演題「葛城の峯々と修験道」

講師 宮城泰年氏・本山修験宗総本山聖護院門跡門主

■関連催事

公開講演会 9月30日(日) 14:00～16:00

演題「飛鳥の終末期古墳の被葬者像」

講師 前園実知雄氏・奈良芸術短期大学教授

■会場:香芝市文化施設 ふたかみ文化センター 1階・市民ホール

定員:先着300名(事前の申し込みは不要です。)

*聴講には当日発行の二上山博物館特別観覧券が必要です。

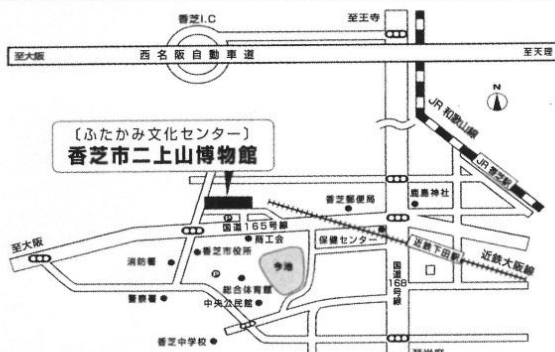
1992～2012
二上山博物館20年

入館割引券 特別展「役行者、二神の上の峯に登る」

香芝市二上山博物館
Kashiba City Nijyosan Museum

〒639-0243 奈良県香芝市藤山一丁目17番17号
香芝市文化施設 ふたかみ文化センター1階
TEL 0745-77-1700 FAX 0745-77-1601
E-mail nijiyosan@city.kashiba.lg.jp
HP http://www.city.kashiba.lg.jp/life/shisetsu/hakubutsukan/

- 開館時間 午前9時から午後5時(入館は午後4時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(ただし、10/8は開館し、翌10/9が休館日となります。)
- 観覧料 一般350円(250円)、高・大学生200円(150円)、小・中学生150円(100円)
*()内は20名以上の団体割引料金。
- 交通 近鉄大阪線下田駅下車、西へ徒歩約8分。JR和歌山線香芝駅下車、西へ徒歩約12分。
自動車)西名阪香芝I.Cから国道168号線を南へ約15分。駐車場有(無料)。
- 会期中、本券1枚につき1名様限り、上記の団体割引料金を適用します。
- 他の団体割引料金との併用はできません。
- 本券を切り離して、受付カウンターへ提示してください。



会期:平成24年9月29日(土)～同年11月25日(日)有効